

あしたのために

四日市市立朝明中学校
1 年生学年通信
令和元年 11 月 11 日(月)
その 77 文責(浅野)

自主自立！

感動すること

～感動は人の心を刺激し、成長させる～



先週 7 日(木)に朝明中学校を代表して 3 年 5 組が三泗音楽会に出場しました。たくさん練習してきました。たくさんの思いを込めて歌ってきました。『この部分はどのように歌えば伝わるだろうか・・・』自分たちで考え、創り上げてきた 3 年 5 組の合唱は、自信に満ち溢れていました。合唱コンクールでみんなも聞いたと思いますが、すばらしい合唱を文化会館に響かせてくれました。クラブ発表では吹奏楽部が出演しました。3 年生との最後の演奏になりました。

三泗音楽会 2 日間で 29 校の参加があり、学級合唱とクラブ発表がありました。どの学校も各校の代表(合唱コンクールの優勝クラス)としてステージに上がっているということもあり、大変すばらしい演奏ばかりでした。何よりも自分たちの演奏を聞いてもらいたい！という思いが伝わってくるものばかりで、感動しました。やっぱり合唱(音楽)はいいなと改めて思いました。

音楽会の最後は、会場全員での大合唱です。たくさんの学校の熱のこもった合唱や、クラブ発表の演奏を聞いて、この音楽会でしか味わえない感動を全員が体験しました。



1 年生の学年目標に「心一つに」という言葉があります。心を一つにして、成し遂げたものには感動が生まれます。人間は、ほかの動物とは違い、感動ができます。感動とは「美しいものやすばらしいことに接して強い印象を受け、心を奪われること。」とあります。この感動をどれだけたくさん、人生の中で体験していくかが、大切なのです。感動した瞬間、人は成長していくものなのです。たとえば、映画を見て泣いたとき、深く心の底にまで感動が伝わります。その感動は一瞬でもずっと心に残り、実生活の中でいつの間にか生かされてるってこと多いですよ。心が動くにつれて、行動も変わります。みんなは感動していますか？

もうすぐテスト発表！

今週の水曜日曜日はテスト発表です。1 年生 2 学期の期末テストは 1 年間の中での大きな山場といってもいいほど大切です。今日の通信にも関連しますが、いろんなことに感動するためには、それだけ多くの受け皿(知識)が必要です。感動している人は、心が感じ、動いています。心が感じ、動くためには、その刺激を受け取るための「受け皿」が必要です。この受け皿を作って大きくするのが、学問です。学問をすると、受け皿がどんどん大きくなります。今みんなが勉強していることで無駄なことはないということです。毎日 2 時間以上がんばってくださいね。そしてテスト発表後の 1 週間は余裕を持って勉強できるように、やっていきましょう。常に先を見て、日々当たり前のことを徹底的に続けていくのです。凡事徹底ですよ！